

夏の日、緑陰に憩う

小廬山(しょうろざん)観察記③



《5月中旬の様子》



《6月中旬の様子》

小廬山の美しい景観を維持するため、全山を覆っていたオカメザサを、地際(ぎわ)から刈取る作業を行ったのは今年の5月中旬。

2ヶ月が過ぎた7月中旬には、下の写真のように、全山にほぼ緑色が戻りました。



《7月中旬の様子》

今夏の暑さで立ち枯れてしまった箇所は、少し様子をみることになりそうです。

オカメザサは、日本で最も背丈の低いタケです。その昔、西の市で、この竹に熊手や千両箱、“ひょっとこ”や“おかめ”のお面など、縁起物を飾り、販売していたところから、この名がついたとも。

縁起の良い名前にあやかり、みなさまに幸せな気分でご覧いただけるような景色が戻りますように。(小廬山観察記①(かわら版 171号)、②(かわら版 172号)は、当園のホームページからご覧いただけます)

“ひんやり”を味わう

たくさん的高木が頭上に陰をつくるように枝を伸ばす園内、晴れた日でも、木陰に入った瞬間に「あーっ、涼しい!」と思われることもあると思います。

この季節、特にオススメなのは“木曽路”周辺。唐門から紅葉林に向かう延段(のべだん)を歩いているうちに、さっきまでの汗がスーッと引くようです。



《木曽路周辺》

また、“白糸の滝”周辺もお勧めです。水遊びはできませんが、流れ落ちる水音や、水底が見えるくらい浅く緩い流れが視覚や聴覚からも涼を感じさせてくれます。

日差しが強くなる前、9時の開園直後や、少し日が傾く16時くらいから、夕涼みも兼ねての散策もお勧めです。

天然の“ひんやり”を夏の庭園で味わってみてください。

“猛暑”“酷暑”そんな表現がぴったりの暑い日が続いていますが、みなさまは、いかがお過ごしでしょうか?

少しでも快適に、夏の庭園散策をお楽しみいただけるよう、小石川後樂園を含む都立9庭園では、9月15日(月・祝)まで、無料で和傘の貸出を行います。(貸出本数には限りがあります。雨天・荒天の場合は、貸出を中止します。)

和傘と一緒に庭園散策、素敵な夏の思い出に!

※写真はイメージです



イネ(稲)の花咲くころ

園内にある小さな田んぼは、当園を完成させた水戸徳川家二代藩主・光圀(みつくに)が、三代藩主・綱條(つなえだ)の夫人に、農民の苦勞と農業の大切さを教えるために造ったといわれています。

現在では、文京区立柳町小学校のみなさんと一緒に田植え、案山子(かかし)作り、稲刈りを行っています。

5月の田植え後、イネは順調にグングンと育ち、しっかりとした株になりました。



初秋の季語にもなっている「稲の花」、小さくて肉眼では少し難しいかもしれませんが当園でも例年、8月中旬ごろから、左の写真(昨年撮影)のような白い花をご覧いただけるようになります。

花が咲き出すと、田んぼの周辺には、香ばしいような独特の香りが漂います。

その香りが懐かしいと、毎年、花のころにお越しくださるお客さ

まも、いらっしゃいます。8月中旬、みなさまも、ぜひその香りをご堪能ください。

イネの花は、ひとつの稲穂に100個ほどつき、約1週間をかけて、穂先から下に向かって順番に咲き進みます。開花期間は、晴れた日の午前中の2時間くらいで1度咲いたら終わりだそう。上から下へ開花が進むのは子孫を多く残すための仕組みなのだとか。

不作の原因になるといわれるのは、開花期の悪天候や、極端な高温や低温。今年も天候に負けず、たくさん花が咲き、豊作になることを願います。

なお、食害を防ぐため、8月下旬には田んぼ全体に防鳥ネットを施す予定です。

かわら版

小石川後樂園

第173号

令和7年
7月30日
発行

お得な年間パスポート

- 小石川後樂園用●
一般:1,200円
65歳以上:600円
- 都立9庭園用
一般:4,000円
65歳以上:2,000円

熱中症を予防するため、散策の際は水分・塩分補給もお忘れなく!

X (旧 Twitter) @korakuenGarden



HP「公園へ行こう!」



9庭園インスタグラム



かわら版についてのお問い合わせは 小石川後樂園サービスセンター 03(3811)3015

広報係(協会の事業全般に関するお問い合わせ) TEL 03(3232)3011 ※8:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除く) 指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会